

イ コースカードの活用

コース学習のとき、友達からその技ができたと評価されると、金色のシールがはられる。このシールがはられることにより、友達から技に対する評価が得られたことになる。そこで、技の定着に対する自信が深まり、更に相互評価することで、より自分の「よさ」の意識化が図られた。

④ 教師からのコメント

教師は、児童の「よさ」を認める観点と技を定着させる観点から、毎時間一人一人にコメントを書いた。児童には、コメントが書かれた学習カードを読んで、自分の「よいところ」を意識し、もっと伸ばしていこうとする気持ちが表れた。

これらのことから、教師の助言や毎時間のコメントは、児童一人一人の「よさ」を意識化させるのに有効であったと考える。

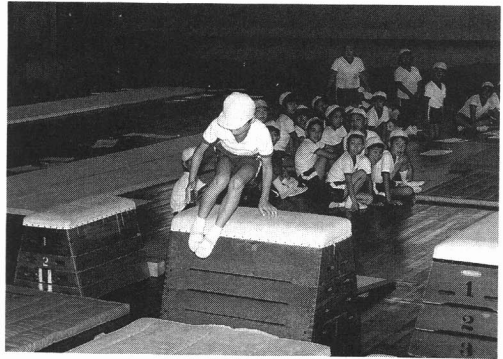
(4) 「よさ」を伸ばす指導について

① 創作活動の場の設定

この単元のまとめとして、マット運動と跳び箱運動を、達成度、興味・関心と意欲に応じた技を選択し、組み合わせて、連続技として行う創作活

動を位置づけた。その結果、児童一人一人が「自分だけの連続技をつくる」という意識が強くはたらし、意欲的な活動につながった。

例えばI男は、跳び箱運動の技からマット運動の技へ、そしてまた跳び箱運動の技へというような流れを工夫していた。またS男は、マット運動の技の後、跳び箱運動の技を2回続けて行うような工夫をしていた。このように、独創的な技の流れや組み合わせを考え出し、意欲的に練習する児童が多くみられた。



☆ よいところカード ☆ マット運動・とび箱運動 4時間目 7月/2日(金)

双きょうのわたしのめあて **全部のコースをできるようにする**

できたコースと自分を色の線でむすんでみよう。

やくそく

- ・じゅん番を守ろう。
- ・けがをしないように注意しよう。
- ・友だちどうし助け合おう。

わたしは
こんなよいところがあります。

いっしょうけんめいやることですね

名前 (T 子)

発表するのは、

イエロー

コースです。

元主からふたへ全部のコースをできるようにする。

きょうのじゅん番での友だちのよいところを書きましょう。

◎運動について ◎たい度について

・T子ちゃんとA子ちゃんが、S子ちゃんがしんせつにいっしょうけんめいやっていおしえてくれた。た。みんな上手できれいだった。

◎あなたのよいところ……きょうは、どうでしたか？

あきらめずいっしょうけんめいやった。

◎きょうのあなたのよいところを、友だちはどう書いてくれましたか？

S子ちゃんが「T子ちゃんが、おしえてくれた」と書いてくれた。